

# がん医療における認知機能障害 ～ケモブレインを中心に～

がん患者の認知機能障害の背景として、がんへの罹患、あるいはがん薬物療法やホルモン療法などの治療に伴う報告が増えてきています。特に、化学療法に伴う認知機能障害は「ケモブレイン」と呼ばれていますが、その介入方法は未だ確立されておらず、臨床現場では支援に悩むことも多いかと思えます。

このセミナーでは京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 緩和医療科の谷向仁先生をお招きして、がん医療における認知機能障害の概説と現時点の知見を中心にご講演いただき、よりよい看護のあり方を考えたいと思います。

日時：**2022年9月15日(木) 18:00～20:00**

場所：兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室(Zoom)

※アクセス先のリンク(URL)とパスワードは、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象：がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、  
CNS コース大学院生、修了生、教員(先着 80 名)

講師：**谷向 仁** 先生

京都大学医学部附属病院緩和ケアセンター/緩和医療科

無料

## ■お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2022年9月5日(月)**までにご登録ください。

<http://www.apnhyogo.net/seminar2/>

※登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。スマートフォンなどからお申し込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。また定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただくことがありますのでご了承ください。



—主催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科多様な新ニーズに対応する  
「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン(責任者:川崎 優子)

## ■講師紹介

### 谷向 仁(たにむかい ひとし)先生

京都大学大学院医学系研究科 人間健康科学系専攻 先端  
リハビリテーション科学コース 脳機能リハビリテーション学  
分野 准教授／医師  
京都大学医学部附属病院緩和ケアセンター／緩和医療科



#### ・研究領域

がんなどの身体疾患に関連する認知機能、心理・精神、睡眠などに関する臨床的検討  
総合病院における認知症の臨床研究および教育プログラム開発  
行動変容に関する検討

#### ・委員歴

日本サイコオンコロジー学会 理事/日本神経精神医学会 評議員/日本総合病院精神  
医学会 評議員

#### ・近著

『がんと認知機能障害 気づく,評価する,支援する』

中外医学社(2020年9月発刊)

『スペシャリストが教える 認知症を合併している患者の診かた、関わり方』

新興医学出版社(2021年8月発刊)

『がんサバイバーシップ学』

メディカルサイエンスインターナショナル(2022年2月発刊)

## ■講演内容

- ・がん患者の認知機能障害の概要
- ・ケモブレインの最新の動向と課題
- ・看護における課題ディスカッション  
(参加者によるグループワーク)

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858

E-mail:ganpro29-jim@cna.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo